

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	環境生活総務課	氏名	安達 道子
派遣先 団体名	NPO法人 松江音楽協会		
<p>① 研修の日時</p> <p>(1) 8月13日(月)、16日(木)、17日(金) プラバホールあつまれオルガン&amp;ホール探検隊</p> <p>(2) 9月27日(木)、28日(金) 0歳から入れるコンサート～オルガンdeリラックス～</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>(1) プラバホールあつまれオルガン&amp;ホール探検隊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちがバックヤードを探検しながらパイプオルガンやチェンバロ、照明機器などについて専門家から説明を受け、実際に触れるイベントで、毎年お盆頃に開催される。</li> <li>会場や備品の準備と当日の受付、子どもたちを引率する隊長役などを行った。</li> </ul> <p>(2) 0歳から入れるコンサート～オルガンdeリラックス～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常のコンサートでは乳幼児は入れないケースが多いため、親や赤ちゃんが音楽を楽しめるようにと企画されている。</li> <li>会場や備品の準備、受付などを行った。</li> </ul> <p>③ 研修の感想</p> <p>イベントそのものの質の高さとスタッフの方々のチームワークの良さ、組織としての確かさが印象に残りました。</p> <p>イベントは毎年ブラッシュアップを重ね、事務方はもちろん芸術監督や演奏家、機材の専門家などたくさんの方々が連携して一体となっていて行われていて、素晴らしかったです。</p> <p>受付でのベビーカー預かりや誘導の方法、パイプオルガンの振動体感、衣装、説明方法など随所で工夫しがらも、日本屈指の音響のよいホールの「松江音楽協会」ということで、演奏や演出はプロ中のプロが大迫力で手を抜くことなくされるので、子どもたちは「本物」を吸収していました。音楽とホールを愛し、一流のものを提供しようとする主催側の気合いと誇りが伝わってきました。</p> <p>探検隊では「隊長役」をご用意いただき、ホールの信頼を損なわないようにと思いながら務めさせていただきました。と言いながら、子どもたちから「隊長さん、すごい楽しそう！」と言われるくらい楽しみました。居心地がよくて、考えてみたら怒り声のような不快音を一度も聞きませんでした。あれだけ大勢の方が一生懸命になっているのに、すごいと思います。</p> <p>また、組織としてもしっかりしていて、県の他課のように感じることもありました。同時に、関係者を育てていく姿勢や専門的な事柄を一般の方にわかりやすくする姿勢、長年行っている事業を反芻しながらより良いものへと工夫し続ける姿勢、自由な発想を活かしてオモシロイことを実行する柔軟性を見習わなければと思いました。</p>			

多くの社会課題があり、ともすれば「音楽」は後回しにされることもある中で、松江音楽協会様は市民に豊かな音楽を届け、地域で大きな役割を果たしておられると感じます。「音」を「楽しむ」という奥深さを想います。何気なくコンサートに行くなど身近に感じていたプラバホールでしたが、今回の研修で驚きがたくさんあり、考えさせられました。

「松江音楽協会」様には、たいへんお忙しい中研修を受入れてくださり、本当にありがとうございました。資料やスケジュール調整などのご準備や丁寧でわかりやすいご説明、あたたかいご配慮に心よりお礼申し上げます。

④ その他特記事項